

科目名	専門演習Ⅱ Seminar II						
科目担当者	柚原 知明 YUHARA Tomoaki						
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習] 他学部他学科履修×				ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	<p>・専門演習Ⅱとしては、基礎的な経営戦略論に関するテキストの輪読を踏まえて、DX(デジタル・トランスフォーメーション)やグローバル経営等の最先端の技術革新を活用した先鋭的な領域やグローバル化にも触れながら、諸理論と具体的な事例の解説を行う。</p> <p>・企業研究視察(演習Ⅰ・Ⅲのゼミ生と合同)の実施を検討したい(実施時期・企業は未定)。</p>						
授業の到達目標	<p>① 経営戦略論のベースとなるビジネスモデルに関する基礎的なテキスト輪読・発表については、スライドの作成、準備、発表を半期1回、年間2回を義務付ける。</p> <p>② 経営戦略論のベースとなるビジネスモデルに関する基礎的なテキスト輪読・発表の繰り返しによって、主体的な学習姿勢の醸成と、深く“考える力”の涵養を図る。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス	16	「競争戦略」(基本戦略)			
	2	「経営戦略とは」	17	「競争戦略」(各種パターン)			
	3	「経営戦略の意義」	18	「競争戦略」(競争と協調の戦略)			
	4	「経営戦略の概要」	19	「新事業創造戦略」(意義と条件)			
	5	「経営戦略の研究の歴史の変遷」	20	「新事業創造戦略」(ミドルの役割)			
	6	「ドメインとは」	21	「成長戦略」(不均衡創造)			
	7	「ドメインの意義と考え方」	22	「成長戦略」(ドメイン・ギャップ)			
	8	「企業ドメインと事業ドメイン」	23	「ネットワーク戦略」(垂直型)			
	9	「企業の成長とドメイン」	24	「ネットワーク戦略」(水平型)			
	10	「戦略の策定」(企業戦略)	25	「グローバル戦略」(経営環境と経営資源)			
	11	「戦略の策定」(事業戦略)	26	「グローバル戦略」(経営組織と経営戦略)			
	12	「戦略の策定」(内部・外部環境の分析)	27	「地域企業の戦略」(企業と地域社会)			
	13	「戦略の策定」(経営資源の分析)	28	「地域企業の戦略」(経営戦略と地域発展)			
	14	「戦略の策定」(セグメンテーション)	29	「経営戦略と社会性」(社会的責任とCSR)			
	15	「戦略の策定」(経営資源と戦略)	30	「経営戦略と社会性」(ガバナンス)			
授業外学修 (事前学修)	<p>・毎回の授業の範囲をテキスト等の熟読で予習し、理論の内容や専門用語の意味等を調べる(毎週2時間程度)。</p>						
授業外学修 (事後学修)	<p>・毎回の授業後の内容をテキストや配布されたスライド等で復習し、理論の内容や専門用語の理解を深める(毎週2時間程度)。</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法			評価比率	到達目標との対応		
	<p>・テキストの担当箇所に関して、半期1回、年間2回の発表を行う。</p> <p>・積極的な質問、提案、検討結果の発言による専門演習への貢献を行う。</p>			70%	①		
				30%	②		
成績評価基準	<p>秀：(評点90点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点80点～89点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点70点～79点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点60点～69点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点60点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	<p>・大滝精一・金井一頼，他〔2016〕『経営戦略 論理性・創造性・社会性の追求 第3版』有斐閣。</p>						
参考文献	<p>・Potter, M.E.〔1980〕<i>Competitive Strategy</i>, Free Press. (土岐坤・中辻萬治・服部照夫訳〔1982〕『競争の戦略』ダイヤモンド社。)</p> <p>・Potter, M.E.〔1985〕<i>Competitive Advantage</i>, Free Press. (土岐坤・中辻萬治・小野寺武夫訳〔1985〕『競争優位の戦略』ダイヤモンド社。)</p>						
その他							